

実務家教員に関する授業科目一覧表

教養学科

実務家教員・講師による授業科目一覧

<共通教養科目> 実務家講師による授業について

(敬称略)

科目名	担当・職名等	必修・選択の別、単位数、開講時期、 科目の概要				回数	コマ数	
		必修	前期1単位 後期1単位	1年次	前期・後期			
基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ	担当：基礎ゼミナール担当教員、実務家講師（下記（別表）参照）					6回	2コマ	
キャリア教育	山内 雅恵 キャリアコンサルタント	必修	2単位	1年次	前期	3回	2コマ	
	上原 伸也 株式会社恒栄工業 代表取締役	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。						1回
	神野 由香里 安全衛生保護員 直売所かみ野 総務					2回		
生命と倫理	石垣 靖子 元東札幌病院看護部長、副病院長 北海道医療大学名誉教授	選択必修	2単位	1年次（教養・英文）・ 2年次（英文・経済）	後期	1回	1コマ	
	八力 廣超 慈光寺 住職	遺伝子が手掛かりに解明されてきた現代の生命科学の知識と、臓器移植や遺伝子操作を伴う最新の医療技術、そして無痛化社会におけるケアの現実、わたしたちの従来の生命観や倫理観とどう交わり、どう結びつくのか。現実を正しく知り、人類が培ってきた古今東西の知恵をひもとき、新しい生命倫理を考えていきます。 なお、この授業は、本学教員及び外部の実務家講師によってリレー方式で行われます。						1回
女性と社会	太田 明子 太田明子ビジネス工房代表、札幌バイクプロジェクト合同会社代表執行社員	選択必修	2単位	2年次	前期	1回	1コマ	
	今川かおる 家事調停委員、性暴力被害者支援相談員	「女性」に関わる経済的、政治的、社会的なシステムや通念は、時代や文化により異なる様相を呈しています。「女性」をめぐる課題や論点は文化的また歴史的な制約を受けた流動的なものといえます。本講義は複数の講師（実務家教員含む）が担当するオムニバス形式をとり、多様な視点や解釈を提示します。また、適宜アクティブラーニングの実施を予定しています。						1回
	竹内 祐子 不登校の親の会「ポレポレ」代表					1回		
	八代 真由美 河谷・八代法律事務所 弁護士					1回		
	木崎 美和 北海道新聞社編集委員					1回		
	五十嵐 いおり フリーアナウンサー兼ディレクター 有限会社オフィスレット代表取締役					5回		
生活と健康	大村 東生 東札幌病院 乳腺外科・内分泌外科 科長（副院長）	選択必修	2単位	2年次	前期	2回	1コマ	
	福澤 由佳 レディマーク 代表	学科共通に学修する共通教養科目の生涯教養系、選択科目である。この授業では、女性に特化した健康と生活について、現代社会における女性特有の健康課題と生涯の健康保持やワーク・ライフ・インテグレーションのあり方を想像する。 オムニバス講義（実務家講師と外部講師）として開講し、有益な専門的知識について理解を深める。						1回
	鈴木 菜摘子 石狩市子ども相談センター、臨床心理士、社会福祉士					1回		
	川端 絵美 オリンピック					2回		
	矢代 直美 オリンピック					1回		
	北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課 ライフデザインゼミ！出前講座担当者					2回		

10単位

(別表) アセンブリーアワー全体講演日程表（基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ（各1単位）の一環として開催）

[前期]

日程	内容	講師
5月14日（火） 3・4講時	自分とうまく付き合う ～学生相談室からのアドバイス～	本学学生相談室カウンセラー 森田佳江 氏（臨床心理士）
6月4日（火） 3・4講時	アルバイトの意義や意味を考えてみよう	北海道アルバイト情報社 （キャリア教育授業）
7月2日（火） 3・4講時	犯罪被害防止講座	北海道警察札幌方面北警察署 生活安全課

[後期]

日程	内容	講師
9月24日（火） 3・4講時	輝く未来のために考える マネープランとは	Life For You 代表 稲村優典子氏 （ファイナンシャルプランナー）
10月8日（火） 3・4講時	ジェンダーアイデンティティについて	満島てる子氏
11月12日（火） 3・4講時	障がい差別解消、合理的配慮について	札幌弁護士会

※ アセンブリーアワー全体講演は基礎ゼミナールⅠ・Ⅱの一環として行われます（前期3回・後期3回）。

学生は講演後、レポートを提出。基礎ゼミナールの教員へ配付され、ゼミ指導に活用します。

<付設課程> 実務家講師による授業、学外実習・学外研修

科目名	担当・内容等	職名等	必修・選択の別、単位数、開講時期、 科目の概要				回数	コマ数
			必修	2単位	1年次 (教養) (図書館司書課程)	後期		
図書館サービス概論	浅野 隆夫	札幌市中央図書館 (調整担当課長)	必修	2単位	1年次 (教養) (図書館司書課程)	後期	15回	1コマ
			<p>図書館サービスとは長期的に蓄積した資料、情報を組織的に保存し、安定的に提供することである。一方、最近では、図書館の建て替え需要やさまざまな業種の参入、自治体が図書館をまちづくりの核と評価するなど、「あたらしい図書館」像が求められている。</p> <p>当講義では、さまざまな図書館サービスの基本を学びつつ、各地での変わりゆく図書館の姿を知り、さらに現役司書の話も聞くなど、「図書館のリアル」を感じながら、どのように利用者ニーズとサービスをマッチングさせることができるかを考察していく。</p>					
児童サービス論	成田 康子	北海道札幌南高等学校司書	必修	2単位	2年次 (教養) (図書館司書課程)	前期	15回	1コマ
			<p>児童（乳幼児からヤングアダルトまで）を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ・紙芝居・ブックトークやストーリーテリング等の(おはなし会)の概要、学校との協力等について解説し、必要に応じて本学児童図書室の協力による演習を行う。</p>					
図書館サービス特論	成田 康子	北海道札幌南高等学校司書	選択必修	1単位	2年次 (教養) (図書館司書課程)	後期	15回	1コマ
			<p>自分のために絵本を読み、絵本が及ぼす精神的な作用を考える。関連して「こころの処方箋」を作成、絵本に自作POPを添えて図書館展示し利用者に提案する。また、「児童サービス論」で学んだ「ブックトーク」、および「フロアワーク」をとりあげる。ブックトークの定義・目的・方法の理解からグループによるシナリオ作成を経て、本学付設の児童図書室においてブックトークを開催する。あわせて児童書・絵本の返本作業、子どもへの読み聞かせに応ずるフロアワークなど、児童サービスを体験する。</p>					
図書館実習	担当：河村芳行、木村修一 内容： 2年次の夏季休暇中を利用し、主として道内の公共図書館において図書館実務を体験する。実習は各図書館の指導・監督のもとに、所定の計画によって7～10日間（休日を除く）行う。 実習期間中は各自実習記録を記入することとし、実習終了後に実習レポートと共に提出する。		選択必修	1単位	2年次 (教養) (図書館司書課程)	前期	各図書館において 実習	
			<p>図書館実務を体験する。 事前・事後の指導を受けるとともに、図書館に関する科目で得た知識・技術をもとに図書館業務を経験する。</p>					
オフィス実務Ⅳ	担当：官尾昌子・光田恵子・実務家講師（下記参照）		選択必修	1単位	2年次（教養） (ビジネス教養課程)	前期		
			<p>この授業は、「働くことを知る」「社会を知る」ことを目標に、実務家講師の講義を中心に展開します。また、より実践的学びを通じ、知識と技能を深め、1年次の「オフィス実務Ⅰ・Ⅱ」、2年次前期で習得したオフィス実務Ⅲまでの学びの集大成として、秘書検定上級の取得を目指します。加えて、本課程での学びのまとめを行います。</p>					
							4回	1コマ
							4回	

7単位

教養学科合計 17単位

実務家教員に関する授業科目一覧表

英文学科

実務家教員・講師による授業科目一覧

<共通教養科目> 実務家講師による授業について

(敬称略)

科目名	担当・職名等	必修・選択の別、単位数、開講時期、 科目の概要				回数	コマ数	
		必修	前期1単位 後期1単位	1年次	前期・後期			
基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ	担当：基礎ゼミナール担当教員、実務家講師（下記（別表）参照）					6回	2コマ	
キャリア教育	山内 雅恵 キャリアコンサルタント	必修	2単位	1年次	前期	3回	2コマ	
	上原 伸也 株式会社恒栄工業 代表取締役	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。						1回
	神野 由香里 安全衛生保護員 直売所かみ野 総務					2回		
生命と倫理	石垣 靖子 元東札幌病院看護部長、副病院長 北海道医療大学名誉教授	選択必修	2単位	1年次（教養・英文）・ 2年次（英文・経済）	後期	1回	1コマ	
	八力 廣超 慈光寺 住職	遺伝子が手掛かりに解明されてきた現代の生命科学の知識と、臓器移植や遺伝子操作を伴う最新の医療技術、そして無痛化社会におけるケアの現実、わたしたちの従来の生命観や倫理観とどう交わり、どう結びつくのか。現実を正しく知り、人類が培ってきた古今東西の知恵をひもとき、新しい生命倫理を考えていきます。 なお、この授業は、本学教員及び外部の実務家講師によってリレー方式で行われます。						1回
女性と社会	太田 明子 太田明子ビジネス工房代表、札幌バイクプロジェクト合同会社代表執行社員	選択必修	2単位	2年次	前期	1回	1コマ	
	今川かおる 家事調停委員、性暴力被害者支援相談員	「女性」に関わる経済的、政治的、社会的なシステムや通念は、時代や文化により異なる様相を呈しています。「女性」をめぐる課題や論点は文化的また歴史的な制約を受けた流動的なものといえます。本講義は複数の講師（実務家教員含む）が担当するオムニバス形式をとり、多様な視点や解釈を提示します。また、適宜アクティブラーニングの実施を予定しています。						1回
	竹内 祐子 不登校の親の会「ポレポレ」代表					1回		
	八代 真由美 河谷・八代法律事務所 弁護士					1回		
	木崎 美和 北海道新聞社編集委員					1回		
	五十嵐 いおり フリーアナウンサー兼ディレクター 有限会社オフィスレット代表取締役					5回		
生活と健康	大村 東生 東札幌病院 乳腺外科・内分泌外科 科長（副院長）	選択必修	2単位	2年次	前期	2回	1コマ	
	福澤 由佳 レディマーク 代表	学科共通に学修する共通教養科目の生涯教養系、選択科目である。この授業では、女性に特化した健康と生活について、現代社会における女性特有の健康課題と生涯の健康保持やワーク・ライフ・インテグレーションのあり方を想像する。 オムニバス講義（実務家講師と外部講師）として開講し、有益な専門的知識について理解を深める。						1回
	鈴木 菜摘子 石狩市子ども相談センター、臨床心理士、社会福祉士					1回		
	川端 絵美 オリンピック					2回		
	矢代 直美 オリンピック					1回		
	北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課 ライフデザインゼミ！出前講座担当者					2回		

10単位

(別表) アセンブリーアワー全体講演日程表（基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ（各1単位）の一環として開催）

[前期]

日程	内容	講師
5月14日（火） 3・4講時	自分とうまく付き合う ～学生相談室からのアドバイス～	本学学生相談室カウンセラー 森田佳江 氏（臨床心理士）
6月4日（火） 3・4講時	アルバイトの意義や意味を考えてみよう	北海道アルバイト情報社 （キャリア教育授業）
7月2日（火） 3・4講時	犯罪被害防止講座	北海道警察札幌方面北警察署 生活安全課

[後期]

日程	内容	講師
9月24日（火） 3・4講時	輝く未来のために考える マネープランとは	Life For You 代表 稲村優典子氏 （ファイナンシャルプランナー）
10月8日（火） 3・4講時	ジェンダーアイデンティティについて	満島てる子氏
11月12日（火） 3・4講時	障がい差別解消、合理的配慮について	札幌弁護士会

※ アセンブリーアワー全体講演は基礎ゼミナールⅠ・Ⅱの一環として行われます（前期3回・後期3回）。

学生は講演後、レポートを提出。基礎ゼミナールの教員へ配付され、ゼミ指導に活用します。

実務家教員に関する授業科目一覧表

経済学科

実務家教員・講師による授業科目一覧

<共通教養科目> 実務家講師による授業について

(敬称略)

科目名	担当・職名等	必修・選択の別、単位数、開講時期、 科目の概要				回数	コマ数	
		必修	前期1単位 後期1単位	1年次	前期・後期			
基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ	担当：基礎ゼミナール担当教員、実務家講師（下記（別表）参照）					6回	2コマ	
キャリア教育	山内 雅恵 キャリアコンサルタント	必修	2単位	1年次	前期	3回	2コマ	
	上原 伸也 株式会社恒栄工業 代表取締役	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。						1回
	神野 由香里 安全衛生保護員 直売所かみ野 総務					2回		
生命と倫理	石垣 靖子 元東札幌病院看護部長、副病院長 北海道医療大学名誉教授	選択必修	2単位	1年次（教養・英文）・ 2年次（英文・経済）	後期	1回	1コマ	
	八力 廣超 慈光寺 住職	遺伝子が手がかりに解明されてきた現代の生命科学の知識と、臓器移植や遺伝子操作を伴う最新の医療技術、そして無痛化社会におけるケアの現実、わたしたちの従来の生命観や倫理観とどう交わり、どう結びつくのか。現実を正しく知り、人類が培ってきた古今東西の知恵をひもとき、新しい生命倫理を考えていきます。 なお、この授業は、本学教員及び外部の実務家講師によってリレー方式で行われます。						1回
女性と社会	太田 明子 太田明子ビジネス工房代表、札幌バイクプロジェクト合同会社代表執行社員	選択必修	2単位	2年次	前期	1回	1コマ	
	今川かおる 家事調停委員、性暴力被害者支援相談員	「女性」に関わる経済的、政治的、社会的なシステムや通念は、時代や文化により異なる様相を呈しています。「女性」をめぐる課題や論点は文化的また歴史的な制約を受けた流動的なものといえます。本講義は複数の講師（実務家教員含む）が担当するオムニバス形式をとり、多様な視点や解釈を提示します。また、適宜アクティブラーニングの実施を予定しています。						1回
	竹内 祐子 不登校の親の会「ポレポレ」代表					1回		
	八代 真由美 河谷・八代法律事務所 弁護士					1回		
	木崎 美和 北海道新聞社編集委員					1回		
	五十嵐 いおり フリーアナウンサー兼ディレクター 有限会社オフィスバレット代表取締役					5回		
生活と健康	大村 東生 東札幌病院 乳腺外科・内分泌外科 科長（副院長）	選択必修	2単位	2年次	前期	2回	1コマ	
	福澤 由佳 レディマーク 代表	学科共通に学修する共通教養科目の生涯教養系、選択科目である。この授業では、女性に特化した健康と生活について、現代社会における女性特有の健康課題と生涯の健康保持やワーク・ライフ・インテグレーションのあり方を想像する。 オムニバス講義（実務家講師と外部講師）として開講し、有益な専門的知識について理解を深める。						1回
	鈴木 菜摘子 石狩子ども相談センター、臨床心理士、社会福祉士					1回		
	川端 絵美 オリンピック					2回		
	矢代 直美 オリンピック					1回		
	北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課 ライフデザインゼミ！出前講座担当者					2回		

10単位

(別表) アセンブリーアワー全体講演日程表（基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ（各1単位）の一環として開催）

[前期]

日程	内容	講師
5月14日（火） 3・4講時	自分とうまく付き合う ～学生相談室からのアドバイス～	本学学生相談室カウンセラー 森田佳江 氏（臨床心理士）
6月4日（火） 3・4講時	アルバイトの意義や意味を考えてみよう	北海道アルバイト情報社 （キャリア教育授業）
7月2日（火） 3・4講時	犯罪被害防止講座	北海道警察札幌方面北警察署 生活安全課

[後期]

日程	内容	講師
9月24日（火） 3・4講時	輝く未来のために考える マネープランとは	Life For You 代表 稲村優典子氏 （ファイナンシャルプランナー）
10月8日（火） 3・4講時	ジェンダーアイデンティティについて	満島てる子氏
11月12日（火） 3・4講時	障がい差別解消、合理的配慮について	札幌弁護士会

※ アセンブリーアワー全体講演は基礎ゼミナールⅠ・Ⅱの一環として行われます（前期3回・後期3回）。

学生は講演後、レポートを提出。基礎ゼミナールの教員へ配付され、ゼミ指導に活用します。

<経済学科科目> <自由科目> 実務家講師による授業、研修、学外実習

科目名	担当・内容等	職名等	必修・選択の別、単位数、開講時期、科目の概要				回数	コマ数	
			選択必修	2単位	2年次 (経済)	前期			
銀行と金融	飯田 治	株式会社道銀地域総合研究所 上席研究員	選択必修	2単位	2年次 (経済)	前期	15回	1コマ	
			銀行は、預金、貸出、為替といった業務やATMなどを通じ、日常生活の中でなじみ深い役割を果たしています。その一方で、規制緩和やコースの変化などを背景に、銀行の業務はほとんど領域を広げ多様化してきました。また、経営統合などを通じ、銀行経営も大きく変化しています。授業では、銀行の役割や機能などを具体的事例により学んでいきます。						
証券と金融	飯田 治	株式会社道銀地域総合研究所 上席研究員	選択必修	2単位	2年次 (経済)	前期	15回	1コマ	
			証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計・政府において非常に重要な役割を果たしている。また、個人の資産形成等においても、日常生活との関わりも非常に強くなっている。講義では、証券の仕組みと役割を学ぶとともに、株式投資の模擬実習「株式学習ゲーム」を通じて、株式相場と社会・経済の動きとの関連性、企業の評価等を実習する。						
保険と金融	飯田 治	株式会社道銀地域総合研究所 上席研究員	選択必修	2単位	2年次 (経済)	後期	15回	1コマ	
			企業活動や個人の生活には、災害、事故、病気など様々なリスクがつきまとっています。その備えとして、生命保険や損害保険など「保険」の仕組みができ、社会経済の変化に応じて発展してきました。また、保険は金融市場とも結びついています。授業では、多様な保険についてその仕組みと役割を学び、保険の必要性を考えていきます。						
キャリア論	今川 かおる	家事調停委員	選択必修	1単位	2年次 (経済) (企業研究プログラム・ 自由科目)	前期	1回	1コマ	
	菊地 晴香	株式会社タイヤ書房学校事業本部 媒体ソリューション課チーフ	人生をより良く生きるうえで、必要なものは何か？キャリアデザインあるいはライフデザインをテーマに、「キャリアとは何か」を考えていきます。社会で活躍している方々を講師としてお迎えして、オムニバス形式で講義を行います。						1回
	元木 麻由	札幌中央信用組合 人事係					1回		
	堀田 悠希	株式会社 a t L O C A L 代表取締役					1回		
	橋本 彩加	さっぽろ青少年女性活動協会 主任					1回		
	田原 咲世	北桜労働法務事務所 社会保険労務士					1回		

7単位

経済学科合計 17単位

実務家教員に関する授業科目 シラバス

教養学科

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY1101	LDP 1, 3, 5 EDP 1, 3, 5	1年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130201 キャリア教育
担当教員	光田 恵子
科目の概要	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。
到達目標	①社会で生きるための基礎的なマナーを身につけること。 ②自身と向き合い、自分にとって望ましい働き方、生き方について、主体的かつ自律的に考えられるようになること。 ③多様な職業観や人生観に触れた上で、自らが定めた目標に向かって、さまざまなスキルや能力を身につけるために行動を具体化していくこと。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の流れと評価方法 社会とつながる力①：あいさつやマナーを身につける
第2回	社会とつながる力②：会話と言葉使いの基本を学ぶ
第3回	自分を知ろう①：過去を振り返る
第4回	自分を知ろう②：自分の強みの種を知る
第5回	自分を知ろう③：動機と前向きな感情を考える
第6回	キャリアをデザインする①：キャリアのマッチング論
第7回	ゲストセッション①：「仕事探しの全体像」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第8回	ゲストセッション②：「様々な働き方」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第9回	キャリアをデザインする②：キャリアの偶発性理論
第10回	ゲストセッション③：「仕事に求めること、求められること」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第11回	ゲストセッション④：楽しく働くって？あなたの意欲はどこからくるのか考えましょう 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第12回	ゲストセッション⑤：働きやすい職場とは？個人の価値観と組織の価値観を比較 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第13回	ゲストセッション⑥：北海道内企業経営者による講演「社会人になるとはどういうことか」 上原慎也氏<株式会社恒栄工業・代表取締役>
第14回	キャリアデザイン③：キャリアデザインの意義と必要性の指導及び「学生生活充実計画」の策定
第15回	授業のまとめと総括：「学生生活充実計画」の発表や提言

テキスト	必要に応じて適宜資料を配布する。
参考資料	必要に応じて随時提示する。

授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習 ：事前課題がある場合、提示された課題に取り組むこと。 復習 ：講義中に配布された資料、学んだ事柄を確認し、理解を深める。課題がある場合は取り組むこと。 時間数 ：講義内容によって異なるが、平均すると各回60分程度の予習・復習が必要です。
アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	40%	授業態度 授業への積極的な参加
レポート	30%	単元ごとのアクションシート

その他	30%	学生生活充実計画
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問はリアクションシートで受け付けます。 ・提出課題や授業アンケートのフィードバックは講評期間に、UNIPAクラスプロフィールの授業資料に掲載します。 	
授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・主にスライドと、配布資料を基に講義を行います。 ・座席は基本的に指定予定です。講義中にグループワーク等で移動が発生する可能性があります。 	
授業に関する実務経験	<p>民間企業での接客経験及びビジネスマナー講師の資格や、国家資格キャリアコンサルタントを有し、企業や地方自治体での15年以上の研修実績のある教員が、短期大学生に相応しい授業を行う。</p>	
授業の形態	<p>対面授業</p>	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY1101	LDP 1, 3, 5 EDP 1, 3, 5	1年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130202 キャリア教育
担当教員	光田 恵子
科目の概要	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。
到達目標	①社会で生きるための基礎的なマナーを身につけること。 ②自身と向き合い、自分にとって望ましい働き方、生き方について、主体的かつ自律的に考えられるようになること。 ③多様な職業観や人生観に触れた上で、自らが定めた目標に向かって、さまざまなスキルや能力を身につけるために行動を具体化していくこと。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の流れと評価方法 社会とつながる力①：あいさつやマナーを身につける
第2回	社会とつながる力②：会話と言葉使いの基本を学ぶ
第3回	自分を知ろう①：過去を振り返る
第4回	自分を知ろう②：自分の強みの種を知る
第5回	自分を知ろう③：動機と前向きな感情を考える
第6回	キャリアをデザインする①：キャリアのマッチング論
第7回	ゲストセッション①：「仕事探しの全体像」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第8回	ゲストセッション②：「様々な働き方」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第9回	キャリアをデザインする②：キャリアの偶発性理論
第10回	ゲストセッション③：「仕事に求めること、求められること」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第11回	ゲストセッション④：楽しく働くって？あなたの意欲はどこからくるのか考えましょう 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第12回	ゲストセッション⑤：働きやすい職場とは？個人の価値観と組織の価値観を比較 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第13回	ゲストセッション⑥：北海道内企業経営者による講演「社会人になるとはどういうことか」 上原慎也氏<株式会社恒栄工業・代表取締役>
第14回	キャリアデザイン③：キャリアデザインの意義と必要性の指導及び「学生生活充実計画」の策定
第15回	授業のまとめと総括：「学生生活充実計画」の発表や提言

テキスト	必要に応じて適宜資料を配布する。
参考資料	必要に応じて随時提示する。

授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習：事前課題がある場合、提示された課題に取り組むこと。 復習：講義中に配布された資料、学んだ事柄を確認し、理解を深める。課題がある場合は取り組むこと。 時間数：講義内容によって異なるが、平均すると各回60分程度の予習・復習が必要です。
アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	40%	授業態度 授業への積極的な参加
レポート	30%	単元ごとのリアクションシート

その他	30%	学生生活充実計画
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問はリアクションシートで受け付けます。 ・提出課題や授業アンケートのフィードバックは講評期間に、UNIPAクラスプロフィールの授業資料に掲載します。 	
授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・主にスライドと、配布資料を基に講義を行います。 ・座席は基本的に指定予定です。講義中にグループワーク等で移動が発生する可能性があります。 	
授業に関する実務経験	<p>民間企業での接客経験及びビジネスマナー講師の資格や、国家資格キャリアコンサルタントを有し、企業や地方自治体での15年以上の研修実績のある教員が、短期大学生に相応しい授業を行う。</p>	
授業の形態	<p>対面授業</p>	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3012	LDP1, LDP2, LDP5 EDP1, EDP2, EDP5 KDP1, KDP2, KDP5	1年	2024年度後期	2単位	講義

科目名	2040130300 生命と倫理
担当教員	齋藤 貴之
科目の概要	遺伝子を手がかりに解明されてきた現代の生命科学の知識と、臓器移植や遺伝子操作を伴う最新の医療技術、そして無痛化社会におけるケアの現実、わたしたちの従来の生命観や倫理観とどう交わり、どう結びつくのか。現実を正しく知り、人類が培ってきた古今東西の知恵をひもとき、新しい生命倫理を考えていきます。 なお、この授業は、本学教員及び外部の実務家講師によってリレー方式で行われます。
到達目標	① 現代の生命科学、医療技術に関する基礎的な知識を身につけること、 ② 様々な伝統的な生命観を理解すること、 ③ 生命をめぐる様々な問題について自ら考えることができるようになること。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：この講義の流れと進め方、決まりごとについて <齋藤>
第2回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅰ：仏教およびアジア諸宗教の考え方をめぐって <八力廣超・慈光寺住職>
第3回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅱ：日本における伝統的な考え方 <齋藤>
第4回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅲ：キリスト教における伝統的な考え方① <佐々木啓・北海道大学大学院教授>
第5回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅲ：キリスト教における伝統的な考え方② <佐々木啓・北海道大学大学院>
第6回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅳ：モンゴルにおける伝統的な考え方と暮らし <サラントヤ・北海道大学大学院>
第7回	最新の医療における「生命・いのち」の問題：ケアの現場から <石垣靖子・元東札幌病院看護部長・副病院長、北海道医療大学名誉教授>
第8回	現代科学が解き明かした「生命・いのち」：生物学の見地から① <貴島祐治・北海道大学大学院>
第9回	現代科学が解き明かした「生命・いのち」：生物学の見地から② <貴島祐治・北海道大学大学院>
第10回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題① <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第11回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題② <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第12回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題③ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第13回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題④ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第14回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題⑤ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第15回	まとめとふりかえり <齋藤>

テキスト	特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考資料	随時紹介し、必要に応じて配布する。
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習 ：次回の講義のテーマを確認し、それに関連する文献や資料を調べるほか、新聞やニュースなどを通して生命や倫理に関する用語に触れておくこと。 復習 ：講義で取り扱ったテーマに関し、配付された資料などを読み直し、理解を深めること。また、重要な用語については正確に記憶し、使用できるようになること。授業の中で示す課題について学期末レポートを作成すること。 時間数 ：総計10時間程度。毎回の予習20分復習20分の学修が必要。
アクティブラーニング	その他

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	60%	毎回の授業後に提出する感想・コメントなどを加味
レポート	40%	学期末レポート

フィードバックの方法	感想・コメントへのフィードバックについては、その都度コメントや解説、評価を付して返却する。 学期末レポートへのフィードバックについては、コメントと解説、評価を付して、総評や模範解答とともに、成績講評期間に返却する。 授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載する。
------------	--

<p>授業に関する情報</p>	<p>毎回、授業後に、感想・コメントを提出する。 学期末レポート： 第1回から第14回までの「生命と倫理」の授業で扱ったテーマ、またはトピックの中から関心のあるものや興味を持ったものをひとつ取り上げ、授業のポイントを整理し、そのテーマまたはトピックについて文献などを用いて自分なりに調べた上で、自らの考えを論述して、学期末レポートを作成する。</p>
<p>授業に関する実務経験</p>	<p>八力廣超：慈光寺住職 石垣靖子：元東札幌病院看護部長・副病院長、北海道医療大学名誉教授</p>
<p>授業の形態</p>	<p>対面授業</p>

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3013	LDP2,3,5 EDP2,3,5	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130400 女性と社会
担当教員	明田川 知美
科目の概要	「女性」に関わる経済的、政治的、社会的なシステムや通念は、時代や文化により異なる様相を呈しています。「女性」をめぐる課題や論点は文化的また歴史的な制約を受けた流動的なものといえます。本講義は複数の講師（実務家教員含む）が担当するオムニバス形式をとり、多様な視点や解釈を提示します。また、適宜アクティブラーニングの実施を予定しています。
到達目標	1. 様々な人の意見や考え方を知り、そこから新たな発見や気づきを得る 2. 女性を取り巻く今日的な課題について関心をもち主体的に考える力をつける

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の進め方や評価など基本事項の説明
第2回	ワークライフバランス①NPOと社会貢献 「女性の起業をサポートする中で見えてきたこと」[担当：外部講師]
第3回	ワークライフバランス② 仕事における自分らしさ 「女性のキャリアと多様な選択」[担当：外部講師]
第4回	ワークライフバランス④女性支援の視点から 「ワークライフバランス 多様な選択」[担当：外部講師]
第5回	【オンデマンド実施】ワークライフバランス③多様な地域とスタイルではたらく
第6回	ワークライフバランス⑥これからのジェンダーを考える 「たくさんの道と、たくさんの出会い」[担当：外部講師]
第7回	【オンデマンド実施】ワークライフバランス⑤男女共同参画社会の今
第8回	「女性の人権をめぐる活動から社会のあり方を考える」[担当：外部講師]
第9回	「記者人生から見えてきた社会とひとの暮らし」[担当：外部講師]
第10回	「自己表現と個性～ジャーナリズムの視点から～ 人生は自分が主役～人生は選択の連続 意思を持ち自分が決める」[担当：五十嵐いおり]
第11回	自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・スピーチ力 「② コミュニケーションの基本～自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・説明力」[担当：五十嵐いおり]
第12回	社会を見つめる目～多様性社会で生きる自覚・コミュニケーションが築く人間 「③ 自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・報告力」[担当：五十嵐いおり]
第13回	振り返り、学期末試験の説明 「④自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・スピーチ力」[担当：五十嵐いおり]
第14回	「社会を見つめる目～多様性社会で生きる自覚・コミュニケーションが築く人間性」[担当：五十嵐いおり]
第15回	まとめ：自分自身の10年後を描く

テキスト	講義中にプリントを配布する。	
参考資料	講義中に随時紹介する	
授業外学習（予習・復習）の具体的な内容および時間数	予習： 新聞など身近な媒体を利用して自分が関心を持てる事柄を調べる 復習： 講義で学んだ内容を意識してニュースや新聞に目を通してください 時間数：1週間のうちに予習・復習合わせて40分程度を確保できると望ましい	
アクティブラーニング	ディスカッション、ディベート	
評価方法	評価割合（%）	備考

平常点（授業参加）	50%	授業への参加意欲と感想文提出
レポート	50%	まとめレポートの実施
フィードバックの方法	講義中に質問等への回答を行う。GoogleClassroom、UNIPAを利用してレポート及び提出物への講評を行う。 授業アンケートのフィードバックは講評期間に UNIPA クラスプロフィールの授業資料に掲載します。	
授業に関する情報		
授業に関する実務経験	なし	
授業の形態	対面授業（一部遠隔授業あり）	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3093	LDP1,2,4,6,8 EDP1,2,4,6,8	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130500 生活と健康
担当教員	宮下 裕加
科目の概要	学科共通に学修する共通教養科目の生涯教養系、選択科目である。この授業では、女性に特化した健康と生活について、現代社会における女性特有の健康課題と生涯の健康保持やワーク・ライフ・インテグレーションのあり方を想像する。 オムニバス講義（実務家講師と外部講師）として開講し、有益な専門的知識について理解を深める。
到達目標	①健康とは、どのようなことかを理解する。②健康的な生涯を送るために、女性の現状を把握するとともに解決策を考え理解する。③困難な問題を抱える女性への支援について理解する。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：シラバスの詳細説明 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第2回	現代の健康概念とその意義（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第3回	多様性 ～LGBTQ～（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第4回	食の意義と正しい食生活（反転授業） <百々瀬 いづみ・札幌保健医療大学教授>
第5回	生活習慣病の予防と自己の食生活をチェック（反転授業） <百々瀬 いづみ・札幌保健医療大学教授>
第6回	乳がん ～女性に一番多いがん～（反転授業） <大村 東生・東札幌病院副院長>
第7回	バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍 ～女性に多い甲状腺の病気～（反転授業） <大村 東生・東札幌病院副院長>
第8回	健康における運動・スポーツ効果（反転授業） <高田 真吾・北翔大学准教授>
第9回	仕事と子育ての両立（PBL・反転授業） <福澤 由佳・レディーマーク>
第10回	困難な状況への支援 ～児童虐待～（PBL・反転授業） <鈴木菜摘子・石狩市子ども相談センター>
第11回	アンガーマネジメント（PBL・反転授業） <鈴木菜摘子・石狩市子ども相談センター>
第12回	冬季女性オリンピックの経験 ～アルペンスキー～（反転授業） <川端 絵美・オリンピック>
第13回	夏季女性オリンピックの経験 ～バスケットボール～（反転授業） <矢代 直美・オリンピック>
第14回	母子保健（PBL・反転授業） <北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課・ライフデザインゼミ>
第15回	リフレクション（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>

テキスト	特になし	
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 毎時の講義資料について、UNIPAから事前に提示するとともに、講義時にも配布する。 公益社団法人日本WHO協会 https://japan-who.or.jp/about/ 厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/index_00023.html 	
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	<p>予習：毎講義終了時に、次回講義資料を UNIPA から配布するので熟読し理解を深めておくこと。</p> <p>復習：講義終了時に示す、UNIPA からの課題に取組み提出すること。講義内容は自己の生活にも積極的に取り入れ、自己の最適解を探索すること。</p> <p>時間数：予習・復習ともに、平均すると各回60分程度が必要</p>	
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）／反転授業	
評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	20%	態度
試験	40%	毎時の課題（随時試験）
試験	40%	リフレクション（確認テスト・自己評価）
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する質問は、授業時とUNIPA クラスプロフィールの Q&A でも受け付ける。 UNIPA クラスプロフィールから各回の予習と復習課題を提示する。提出期限までに提出された課題のみを採点する。課題の返却はコメント欄を確認すること。 授業アンケートのフィードバックは、講評期間に UNIPA クラスプロフィールに掲載する。 	

授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に【オンデマンド】との記載以外は、対面授業であり座席は自由とするが、前列側の座席を指示することがある。 ・授業の課題をUNIPAから随時テストとして提示し、授業資料についても事前にUNIPAから配信（カラーのPower Point）するとともに、授業時には紙媒体（白黒印刷）でも配布する。 ・すべての授業において、Power Point（カラー）を使用しての内容となる。
授業に関する実務経験	なし
授業の形態	対面授業（一部遠隔授業あり）

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY5142	LDP1,5,7,9	1年	2024年度後期	2単位	講義

科目名	2010310500 図書館サービス概論
担当教員	浅野 隆夫
科目の概要	図書館サービスとは長期的に蓄積した資料、情報を組織的に保存し、安定的に提供することである。一方、最近では、図書館の建て替え需要やさまざまな業種の参入、自治体が図書館をまちづくりの核と評価するなど、「あたらしい図書館」像が求められている。当講義では、さまざまな図書館サービスの基本を学びつつ、各地での変わりゆく図書館の姿を知り、さらに現役司書の話も聞くなど、「図書館のリアル」を感じながら、どのように利用者ニーズとサービスをマッチングさせることができるかを考察していく。
到達目標	① 図書館の意義と理念と理解し、自分の言葉で説明ができる。 ② 図書館が行っている各種サービスを理解し、その応用形を自ら考えることができる。 ③ これからの時代にふさわしい図書館の姿を表現することができる。 ④ 司書課程で学んだことを糧に、自分のキャリアを考えていくことができる。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション（授業の進め方や評価方法の説明を含む）
第2回	図書館サービスの理念、構造と変遷
第3回	資料提供サービスの基本
第4回	図書館の機能と各種提供サービスの種類
第5回	課題解決型サービス①：ビジネス支援の実際、課題と可能性
第6回	課題解決型サービス②：暮らしの支援の実際、課題と可能性
第7回	電子資料①：電子書籍貸出サービス
第8回	電子資料②：デジタルアーカイブ、データベース、YouTubeコンテンツなど
第9回	ゲスト講師による特別授業：現役公共図書館司書からサービスの実際を聞く（卒業生を予定）
第10回	障がい者サービスの実践を学ぶ
第11回	ゲスト講師による特別授業：現役学校図書館司書からサービスの実際を聞く
第12回	図書館サービスの協力と連携：専門機関等との連携の意義と展開の可能性
第13回	これからの図書館像を考える：今後開設される他都市図書館の先進的事例から
第14回	利用者とのコミュニケーション：IT時代にふさわしい図書館PRとは
第15回	これからの時代にふさわしい図書館のあり方を考える（学期末レポートの講評含む）

テキスト	特に指定しませんが、講師は、平井歩実・二村健編書『図書館サービス概論』2018年（学文社）を参照しています。
参考資料	菅谷 明子著『未来をつくる図書館』2003年（岩波書店） 幅 允孝著『差し出し方の教室』2023年（弘文堂） 梅澤 貴典著『ネット情報におぼれない学び方』2022年（岩波ジュニア新書） 原作：ずいの 著：系山 岡『税金で買った本』2021年（ヤマガガKCスペシャル） など、随時、授業で紹介いたします。
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習：授業で紹介した資料やWebサイトの情報は確認しておくこと。 復習：毎回、ミニレポートを課題として出しますので、土曜日の夕方までに必ず回答を提出してください。 所要時間：各30分程度
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	40%	授業態度、授業内での質疑など
レポート	30%	毎回の授業後に課題提出される、授業内容の発展形を自ら考えるレポート
その他	30%	学期末レポート（すべての授業のまとめ）

フィードバックの方法	<p>随時、必要に応じて、個別にメール等によりフィードバックします。 授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載します。</p>
授業に関する情報	<p>毎回の授業は ① 各地の新しい図書館や図書館界のトレンド紹介 ② ミニレポートの講評（示唆深いものを取り上げます） ③ 各回のテーマについての授業 ④ 次回のミニレポート課題発表 と進めていきます。</p> <p>・社会に対応できるよう、一方的に教わる授業ではなく、聞いた内容から自分で考えていくことを主眼とします。（毎回のミニレポートを重視しますので、提出を必須とします） ・既存のテキストや書物では語られていない図書館の最新事情をお伝えし、司書として働く際の円滑なスタートが切れるようにします。 ・司書課程で学んだことを他業種でも生かせるような視点を提供します。 ・実際に勤務している司書と直接語り合う機会をつくり、図書館のリアルを感じていただきます。</p> <p>適宜、進捗や関心に合わせて授業の順番などは入れ替えていきます。また、遠隔授業も取り入れていきます。</p>
授業に関する実務経験	<p>実務家講師による授業です。</p> <p>①札幌市中央図書館にて、電子図書館、課題解決型図書館を立ち上げ、中央図書館のサービスを総括し、さらに新しい図書館づくりに携わっています。 ・札幌市電子図書館導入（2014年） ・札幌市図書・情報館（初代）館長（2018年） ・札幌市中央図書館 利用サービス課長(2020年) ・札幌市中央図書館 調整担当部長*(2023年～現在) *札幌市役所政策企画部プロジェクト担当部長と兼務</p> <p>②総務省地域情報化アドバイザーとして、北海道から沖縄まで多くの図書館建設、デジタル化、サービスアップを支援しています。(2020年～現在) 神戸市、広島市、神奈川県、長岡市の新図書館建設に3年以上継続支援したほか、市町村立、県立図書館などへの支援多数（計画策定、講演、ワークショップなど）</p> <p>③デジタルアーカイブ学会評議員、国際大学(GLOCOM)特別研究員など</p>
授業の形態	<p>対面授業（一部遠隔授業あり）</p>

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY5163	LDP1,5,7,9	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2010310700 児童サービス論
担当教員	成田 康子
科目の概要	児童（乳幼児からヤングアダルトまで）を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ・紙芝居・ブックトークやストーリーテリング等の〈おはなし会〉の概要、学校との協力等について解説し、必要に応じて本学児童図書室の協力による演習を行う。
到達目標	①児童サービスの意義や役割を理解する。②さまざまな児童資料に関心を持つ。③児童サービスと他の図書館サービスとの関連性について理解する。

授業の内容および計画

第1回	授業のオリエンテーション：授業の進め方や評価方法、「読書ノート」の書き方などについて説明する 児童図書館とは：公共図書館における児童図書館サービスの位置付けについて知る
第2回	読者としての子ども：発達段階に応じた読書の役割を学ぶ
第3回	児童サービスの意義：関係法規を知り、理念・歴史、ブックスタート等を学ぶ
第4回	児童資料について1：絵本の特性を学ぶ
第5回	児童資料について2：物語の特性を学ぶ
第6回	児童資料について3：ノンフィクション（伝記、知識の本等）の特性を学ぶ
第7回	ヤングアダルトサービス：歴史と特色を学び、課題について理解する
第8回	学校図書館の活動：法的根拠と教育における役割を学び、課題について理解する
第9回	公共図書館と学校図書館：相違点と共通点、児童図書館員と学校司書について学ぶ
第10回	児童サービスの諸活動1：乳幼児サービスとして〈おはなし会〉の概要を知り、構成について学ぶ
第11回	児童サービスの諸活動2：読み聞かせ・紙芝居等の提供の方法を学ぶ
第12回	児童サービスの諸活動3：児童への図書館サービスの事例から学ぶ
第13回	児童サービスの諸活動4：資料の選択と提供について学ぶ
第14回	児童サービスを支えるネットワーク：地域の「文庫」・本学「児童図書室」等、家庭との連携を学ぶ
第15回	授業のまとめと確認：授業の総括をする。学期末レポート提出

テキスト	特になし
参考資料	松岡享子『子どもと本』（岩波書店） 竹内愨『共生する子どもと図書館』（久山社） 成田康子『高校図書館デイズ～生徒と司書の本をめぐる語らい』（筑摩書房） 成田康子『高校図書館～生徒がつくる、司書がはぐくむ』（みすず書房）
授業外学習（予習・復習）の具体的な内容および時間数	予習：関心のある事がらや不明な点は、事前に情報や資料を読んでおく。 復習：授業で配布された資料や解説された内容を確認し、理解をさらに深める。 時間数：各回30分ずつ程度の予復習が必要です。
アクティブラーニング	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	60%	課題・コメント提出物、授業参加
レポート	40%	学期末レポート

フィードバックの方法	学期末レポートのコメントと授業アンケートのフィードバックは、講評期間中にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載します。 授業の先日まで寄せられた質問は、授業当日に授業内またはQ&A返信にて回答します。
------------	--

授業に関する情報	授業計画の前半は、パワーポイントやDVD映像を用いて講義形式で進めます。 座席は自由ですが、画面が見やすいように前の方に座ってください。また、隣の人との間を空けてください。 授業は学習内容に応じて、事前の課題学習や事後の課題を含めて展開していきます。 必要に応じてコメント票を配布し、履修者から寄せられた質問や意見を次回の授業で紹介いたします。また、グループで意見交換を行います。
----------	---

授業に関する実務経験	実務家講師による授業。 道立高等学校図書館の司書を経験し、他大学で司書科目と司書教諭科目を教えている。
授業の形態	対面授業

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY5254	LDP3,5,6,7,9	2年	2024年度後期	1単位	講義

科目名	2010311600 図書館サービス特論
担当教員	成田 康子
科目の概要	自分のために絵本を読み、絵本が及ぼす精神的な作用を考える。関連して「こころの処方箋」を作成、絵本に自作POPを添えて図書館展示し利用者に提案する。また、「児童サービス論」で学んだ「ブックトーク」、および「フロアワーク」をとりあげる。ブックトークの定義・目的・方法の理解からグループによるシナリオ作成を経て、本学付設の児童図書室においてブックトークを開催する。あわせて児童書・絵本の返本作業、子どもへの読み聞かせにちよるフロアワークなど、児童サービスを体験する。
到達目標	①大人にとっての「絵本の効用」を理解する。②子どもの発達段階にちよじた資料を選ぶことができる。③効果的な本の紹介ができる。④児童サービスにおけるフロアワークの基本を身につける。

授業の内容および計画

第1回	授業のオリエンテーション：授業の進め方や評価方法、学期末レポート、「フロアワーク」などについて説明する
第2回	絵本「こころの処方箋」の作成1：絵本の効用－絵本の「深読み」から心に及ぼす影響を学び、絵本を選定する
第3回	絵本「こころの処方箋」の作成2：処方箋を作成する
第4回	絵本「こころの処方箋」の作成3：絵本に添えるPOPを作成する
第5回	絵本「こころの処方箋」の作成4：絵本の展示作業を行う
第6回	図書館におけるブックトーク1：定義・目的を学ぶ
第7回	図書館におけるブックトーク2：テーマの検討とシナリオ作成の手順を学ぶ
第8回	図書館におけるブックトーク3：グループごとにテーマを検討し、全体シナリオの作成を行う
第9回	図書館におけるブックトーク4：全体シナリオ、個別シナリオの作成を行う
第10回	図書館におけるブックトーク5：個別シナリオの作成を行う
第11回	図書館におけるブックトーク6：小道具の作成と発表準備を行う
第12回	図書館におけるブックトーク7：発表準備を行う
第13回	図書館におけるブックトーク8：ブックトークの実演を行う
第14回	図書館におけるブックトーク9：同上
第15回	最終課題：学期末レポート提出

テキスト	特になし。
参考資料	石井桃子『新編子どもの図書館』（岩波書店） 東京子ども図書館『ブックトークのきほん：21の事例つき』（東京子ども図書館）
授業外学習（予習・復習）の具体的な内容および時間数	予習：関心のある事がらや不明な点は、事前に情報や資料を読んでおくこと。 復習：授業で学んだ事がらに関する情報や資料を収集して理解をさらに深めること。 時間数：各回授業外学修時間は変わりますが、平均すると各回30分程度の予習・復習が必要です。
アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション／実習、フィールドワーク

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	30%	各回の課題提出含む
その他	30%	ブックトーク実演参加
その他	20%	児童図書室実習（フロアワーク）参加
レポート	20%	学期末レポート

フィードバックの方法	学期末レポートのコメントと授業アンケートのフィードバックは、講評期間中にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載します。 授業の前日までに寄せられた質問は、授業当日に授業内またはQ&A返信にて回答します。
------------	---

授業に関する情報	・授業は講義をはじめ、グループワークや発表などで構成します。 ・本学付設の児童図書室において一人2～3回、フロアワークがあります。実際に運営されている児童図書室にスタッフとして入
----------	--

	りますので子どもや保護者と接する時間があります。
授業に関する実務経験	実務家講師による授業。 道立高等学校図書館の司書を経験し、他大学で司書科目と司書教諭科目を教えている。
授業の形態	対面授業

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY5263	LDP3,7,8,9	2年	2024年度前期	1単位	実験・実習

科目名	2010311700 図書館実習				
担当教員	河村 芳行、木村 修一				
科目の概要	図書館実務を体験する。 事前・事後の指導を受けるとともに、図書館に関する科目で得た知識・技術をもとに図書館業務を経験する。				
到達目標	図書館現場での実習を通じて実際の図書館業務を体験することにより、講義で学んだ図書館情報学の知識と技能の再構築を図る。				
授業の内容および計画					
2年次の夏季休暇中を利用し、主として道内の公共図書館において図書館実務を体験する。実習は各図書館の指導・監督のもとに、所定の計画によって7～10日間（休日を除く）行う。 実習期間中は各自実習記録を記入することとし、実習終了後に実習レポートと共に提出する。					
テキスト	使用しない。				
参考資料					
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習：実習なので予習は求めないが、翌日に何を実習するのかを確認しておくこと。 復習：毎日の実習記録をきちんとつけて復習すること。 時間数：各回の復習60分程度				
アクティブラーニング	実習、フィールドワーク				
評価方法	評価割合（％）			備考	
レポート	50%			実習レポート	
その他	50%			実習館から提出される実習記録	
フィードバックの方法	実習記録ノート、及び感想レポートの返却を行います。				
授業の形態	対面授業				
授業に関する情報					
授業に関する実務経験	実務家講師である図書館司書による実習				

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY5524	LDP1・LDP3・LDP5・ LDP7・LDP8	2年	2024年度後期	1単位	演習

科目名	2010321300 オフィス実務IV
担当教員	官尾 昌子、光田 恵子
科目の概要	この授業は、「働くことを知る」「社会を知る」ことを目標に、実務家講師の講義を中心に展開します。また、より実践的学びを通じ、知識と技能を深め、1年次の「オフィス実務Ⅰ・Ⅱ」、2年次前期で習得したオフィス実務Ⅲまでの学びの集大成として、秘書検定上級の取得を目指します。加えて、本課程での学びのまとめを行います。
到達目標	実践的状況対応能力の体得を通じ、「働く」力を養う。 社会を知り、知識を深め、貢献できる力を養う。 個々のキャリア観について知り、社会で活躍できるリーダーシップを養う。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の進め方、参加の仕方及び評価方法について
第2回	秘書検定対策①：一般知識
第3回	秘書検定対策②：職務知識
第4回	女性の労働環境を知る①：労働環境の社会問題を学び、就業環境を考える<神野由香里・ファイナンシャルプランナー>
第5回	女性の労働環境を知る②：なぜ労働問題の解決は難しい？ 公正性から組織運営を考える<神野由香里・ファイナンシャルプランナー>
第6回	秘書検定対策③：マナー接遇
第7回	秘書検定対策④：技能
第8回	女性の労働環境を知る③：自分が労働トラブルに遭遇したら 労働法を理解し対処策を考える<神野由香里・ファイナンシャルプランナー>
第9回	女性の労働環境を知る④：賃金と社会保障の仕組みを理解し、自分のライフプランを考える<神野由香里・ファイナンシャルプランナー>
第10回	ブラッシュアップ①：自分のキャリアを考える<山内雅恵・キャリアコンサルタント>
第11回	ブラッシュアップ②：自分のキャリア観を探索する<山内雅恵・キャリアコンサルタント>
第12回	ブラッシュアップ③：転職の乗り越え方を考える<山内雅恵・キャリアコンサルタント>
第13回	ブラッシュアップ④：役割を理解し、リーダーシップ像とフォロワーシップ像を考える<山内雅恵・キャリアコンサルタント>
第14回	まとめ①：改めて人との関わり方について考える
第15回	まとめ②：改めて社会貢献を考える

テキスト	オフィス実務Ⅲと同じテキストを使用します。
------	-----------------------

参考資料	必要に応じて紹介します。
------	--------------

授業外学習（予習・復習）の 具体的内容および時間数	予 習 ：授業内で示される課題について自ら考える、調べる等の積極的な取り組みを求めます。 復 習 ：授業内で示された事項について、ふりかえり、理解を深めることを期待します。 時間数 ：習熟度によって異なるが、平均すると30分程度の予習、復習が必要です。
------------------------------	---

アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション
------------	-------------------

評価方法	評価割合（％）	備考
レポート	70%	実務家講師毎のレポート提出
平常点（授業参加）	30%	課題提出・参加態度

フィードバックの方法	授業に関する質問、相談は、UNIPAクラスプロファイルのQ&A、Googleクラスルーム（限定コメント欄）で受け付けます。授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載します。
------------	--

授業に関する情報	学習の経過を確認し、理解を深めるため、「秘書検定試験」準1級以上（準1級6,500円、1級7,800円）を受験することが望ましい。 この科目の一部は実務家講師による授業科目です。
----------	--

授業に関する実務経験	特になし
授業の形態	対面授業

実務家教員に関する授業科目 シラバス

英文学科

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY1101	LDP 1, 3, 5 EDP 1, 3, 5	1年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130201 キャリア教育
担当教員	光田 恵子
科目の概要	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。
到達目標	①社会で生きるための基礎的なマナーを身につけること。 ②自身と向き合い、自分にとって望ましい働き方、生き方について、主体的かつ自律的に考えられるようになること。 ③多様な職業観や人生観に触れた上で、自らが定めた目標に向かって、さまざまなスキルや能力を身につけるために行動を具体化していくこと。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の流れと評価方法 社会とつながる力①：あいさつやマナーを身につける
第2回	社会とつながる力②：会話と言葉使いの基本を学ぶ
第3回	自分を知ろう①：過去を振り返る
第4回	自分を知ろう②：自分の強みの種を知る
第5回	自分を知ろう③：動機と前向きな感情を考える
第6回	キャリアをデザインする①：キャリアのマッチング論
第7回	ゲストセッション①：「仕事探しの全体像」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第8回	ゲストセッション②：「様々な働き方」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第9回	キャリアをデザインする②：キャリアの偶発性理論
第10回	ゲストセッション③：「仕事に求めること、求められること」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第11回	ゲストセッション④：楽しく働くって？あなたの意欲はどこからくるのか考えましょう 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第12回	ゲストセッション⑤：働きやすい職場とは？個人の価値観と組織の価値観を比較 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第13回	ゲストセッション⑥：北海道内企業経営者による講演「社会人になるとはどういうことか」 上原慎也氏<株式会社恒栄工業・代表取締役>
第14回	キャリアデザイン③：キャリアデザインの意義と必要性の指導及び「学生生活充実計画」の策定
第15回	授業のまとめと総括：「学生生活充実計画」の発表や提言

テキスト	必要に応じて適宜資料を配布する。
参考資料	必要に応じて随時提示する。

授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習 ：事前課題がある場合、提示された課題に取り組むこと。 復習 ：講義中に配布された資料、学んだ事柄を確認し、理解を深める。課題がある場合は取り組むこと。 時間数 ：講義内容によって異なるが、平均すると各回60分程度の予習・復習が必要です。
アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	40%	授業態度 授業への積極的な参加
レポート	30%	単元ごとのアクションシート

その他	30%	学生生活充実計画
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問はリアクションシートで受け付けます。 ・提出課題や授業アンケートのフィードバックは講評期間に、UNIPAクラスプロフィールの授業資料に掲載します。 	
授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・主にスライドと、配布資料を基に講義を行います。 ・座席は基本的に指定予定です。講義中にグループワーク等で移動が発生する可能性があります。 	
授業に関する実務経験	<p>民間企業での接客経験及びビジネスマナー講師の資格や、国家資格キャリアコンサルタントを有し、企業や地方自治体での15年以上の研修実績のある教員が、短期大学生に相応しい授業を行う。</p>	
授業の形態	<p>対面授業</p>	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY1101	LDP 1, 3, 5 EDP 1, 3, 5	1年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130202 キャリア教育
担当教員	光田 恵子
科目の概要	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。
到達目標	①社会で生きるための基礎的なマナーを身につけること。 ②自身と向き合い、自分にとって望ましい働き方、生き方について、主体的かつ自律的に考えられるようになること。 ③多様な職業観や人生観に触れた上で、自らが定めた目標に向かって、さまざまなスキルや能力を身につけるために行動を具体化していくこと。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の流れと評価方法 社会とつながる力①：あいさつやマナーを身につける
第2回	社会とつながる力②：会話と言葉使いの基本を学ぶ
第3回	自分を知ろう①：過去を振り返る
第4回	自分を知ろう②：自分の強みの種を知る
第5回	自分を知ろう③：動機と前向きな感情を考える
第6回	キャリアをデザインする①：キャリアのマッチング論
第7回	ゲストセッション①：「仕事探しの全体像」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第8回	ゲストセッション②：「様々な働き方」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第9回	キャリアをデザインする②：キャリアの偶発性理論
第10回	ゲストセッション③：「仕事に求めること、求められること」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第11回	ゲストセッション④：楽しく働くって？あなたの意欲はどこからくるのか考えましょう 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第12回	ゲストセッション⑤：働きやすい職場とは？個人の価値観と組織の価値観を比較 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第13回	ゲストセッション⑥：北海道内企業経営者による講演「社会人になるとはどういうことか」 上原慎也氏<株式会社恒栄工業・代表取締役>
第14回	キャリアデザイン③：キャリアデザインの意義と必要性の指導及び「学生生活充実計画」の策定
第15回	授業のまとめと総括：「学生生活充実計画」の発表や提言

テキスト	必要に応じて適宜資料を配布する。
参考資料	必要に応じて随時提示する。

授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習：事前課題がある場合、提示された課題に取り組むこと。 復習：講義中に配布された資料、学んだ事柄を確認し、理解を深める。課題がある場合は取り組むこと。 時間数：講義内容によって異なるが、平均すると各回60分程度の予習・復習が必要です。
アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	40%	授業態度 授業への積極的な参加
レポート	30%	単元ごとのリアクションシート

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY1101	LDP 1, 3, 5 EDP 1, 3, 5	1年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130202 キャリア教育
担当教員	光田 恵子
科目の概要	本科目は全学生の必修科目として、「はたらくこと」「いきること」を考えるための基本的な知識や情報を獲得し、キャリア形成意識の醸成を図ることを目的としています。その基盤として、自立した社会人としての常識やマナーを身につけ、人や社会とつながる力を培います。また前半より、キャリア概論の理解や、自己理解ワークを通して、自分らしさ、自分の強みへの気づきを深めると共に、他者との対話やグループワークを通じ、互いに学び合う力を養います。さらに、後半の実務家教員による講演を踏まえ、キャリアを多角的に捉え、将来につながる学生生活を、より有意義なものにするため、目標や行動計画を設定し「学生生活充実計画」の策定を行います。
到達目標	①社会で生きるための基礎的なマナーを身につけること。 ②自身と向き合い、自分にとって望ましい働き方、生き方について、主体的かつ自律的に考えられるようになること。 ③多様な職業観や人生観に触れた上で、自らが定めた目標に向かって、さまざまなスキルや能力を身につけるために行動を具体化していくこと。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の流れと評価方法 社会とつながる力①：あいさつやマナーを身につける
第2回	社会とつながる力②：会話と言葉使いの基本を学ぶ
第3回	自分を知ろう①：過去を振り返る
第4回	自分を知ろう②：自分の強みの種を知る
第5回	自分を知ろう③：動機と前向きな感情を考える
第6回	キャリアをデザインする①：キャリアのマッチング論
第7回	ゲストセッション①：「仕事探しの全体像」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第8回	ゲストセッション②：「様々な働き方」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第9回	キャリアをデザインする②：キャリアの偶発性理論
第10回	ゲストセッション③：「仕事に求めること、求められること」 山内雅恵氏<キャリアコンサルタント>
第11回	ゲストセッション④：楽しく働くって？あなたの意欲はどこからくるのか考えましょう 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第12回	ゲストセッション⑤：働きやすい職場とは？個人の価値観と組織の価値観を比較 神野由香理氏<安全衛生保護具 直売所かみ野 総務>
第13回	ゲストセッション⑥：北海道内企業経営者による講演「社会人になるとはどういうことか」 上原慎也氏<株式会社恒栄工業・代表取締役>
第14回	キャリアデザイン③：キャリアデザインの意義と必要性の指導及び「学生生活充実計画」の策定
第15回	授業のまとめと総括：「学生生活充実計画」の発表や提言

テキスト	必要に応じて適宜資料を配布する。
参考資料	必要に応じて随時提示する。

授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習：事前課題がある場合、提示された課題に取り組むこと。 復習：講義中に配布された資料、学んだ事柄を確認し、理解を深める。課題がある場合は取り組むこと。 時間数：講義内容によって異なるが、平均すると各回60分程度の予習・復習が必要です。
アクティブラーニング	グループワーク／プレゼンテーション

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	40%	授業態度 授業への積極的な参加
レポート	30%	単元ごとのリアクションシート

その他	30%	学生生活充実計画
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問はリアクションシートで受け付けます。 ・提出課題や授業アンケートのフィードバックは講評期間に、UNIPAクラスプロフィールの授業資料に掲載します。 	
授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・主にスライドと、配布資料を基に講義を行います。 ・座席は基本的に指定予定です。講義中にグループワーク等で移動が発生する可能性があります。 	
授業に関する実務経験	<p>民間企業での接客経験及びビジネスマナー講師の資格や、国家資格キャリアコンサルタントを有し、企業や地方自治体での15年以上の研修実績のある教員が、短期大学生に相応しい授業を行う。</p>	
授業の形態	<p>対面授業</p>	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3012	LDP1, LDP2, LDP5 EDP1, EDP2, EDP5 KDP1, KDP2, KDP5	1年	2024年度後期	2単位	講義

科目名	2040130300 生命と倫理
担当教員	齋藤 貴之
科目の概要	遺伝子を手がかりに解明されてきた現代の生命科学の知識と、臓器移植や遺伝子操作を伴う最新の医療技術、そして無痛化社会におけるケアの現実、わたしたちの従来の生命観や倫理観とどう交わり、どう結びつくのか。現実を正しく知り、人類が培ってきた古今東西の知恵をひもとき、新しい生命倫理を考えていきます。 なお、この授業は、本学教員及び外部の実務家講師によってリレー方式で行われます。
到達目標	① 現代の生命科学、医療技術に関する基礎的な知識を身につけること、 ② 様々な伝統的な生命観を理解すること、 ③ 生命をめぐる様々な問題について自ら考えることができるようになること。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：この講義の流れと進め方、決まりごとについて <齋藤>
第2回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅰ：仏教およびアジア諸宗教の考え方をめぐって <八力廣超・慈光寺住職>
第3回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅱ：日本における伝統的な考え方 <齋藤>
第4回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅲ：キリスト教における伝統的な考え方① <佐々木啓・北海道大学大学院教授>
第5回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅲ：キリスト教における伝統的な考え方② <佐々木啓・北海道大学大学院>
第6回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅳ：モンゴルにおける伝統的な考え方と暮らし <サラントヤ・北海道大学大学院>
第7回	最新の医療における「生命・いのち」の問題：ケアの現場から <石垣靖子・元東札幌病院看護部長・副病院長、北海道医療大学名誉教授>
第8回	現代科学が解き明かした「生命・いのち」：生物学の見地から① <貴島祐治・北海道大学大学院>
第9回	現代科学が解き明かした「生命・いのち」：生物学の見地から② <貴島祐治・北海道大学大学院>
第10回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題① <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第11回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題② <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第12回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題③ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第13回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題④ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第14回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題⑤ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第15回	まとめとふりかえり <齋藤>

テキスト	特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考資料	随時紹介し、必要に応じて配布する。
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習 ：次回の講義のテーマを確認し、それに関連する文献や資料を調べるほか、新聞やニュースなどを通して生命や倫理に関する用語に触れておくこと。 復習 ：講義で取り扱ったテーマに関し、配付された資料などを読み直し、理解を深めること。また、重要な用語については正確に記憶し、使用できるようになること。授業の中で示す課題について学期末レポートを作成すること。 時間数 ：総計10時間程度。毎回の予習20分復習20分の学修が必要。
アクティブラーニング	その他

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	60%	毎回の授業後に提出する感想・コメントなどを加味
レポート	40%	学期末レポート

フィードバックの方法	感想・コメントへのフィードバックについては、その都度コメントや解説、評価を付して返却する。 学期末レポートへのフィードバックについては、コメントと解説、評価を付して、総評や模範解答とともに、成績講評期間に返却する。 授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載する。
------------	--

授業に関する情報	<p>毎回、授業後に、感想・コメントを提出する。</p> <p>学期末レポート： 第1回から第14回までの「生命と倫理」の授業で扱ったテーマ、またはトピックの中から関心のあるものや興味を持ったものをひとつ取り上げ、授業のポイントを整理し、そのテーマまたはトピックについて文献などを用いて自分なりに調べた上で、自らの考えを論述して、学期末レポートを作成する。</p>
授業に関する実務経験	<p>八力廣超：慈光寺住職 石垣靖子：元東札幌病院看護部長・副病院長、北海道医療大学名誉教授</p>
授業の形態	対面授業

平常点（授業参加）	50%	授業への参加意欲と感想文提出
レポート	50%	まとめレポートの実施
フィードバックの方法	講義中に質問等への回答を行う。GoogleClassroom、UNIPAを利用してレポート及び提出物への講評を行う。 授業アンケートのフィードバックは講評期間に UNIPA クラスプロフィールの授業資料に掲載します。	
授業に関する情報		
授業に関する実務経験	なし	
授業の形態	対面授業（一部遠隔授業あり）	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3093	LDP1,2,4,6,8 EDP1,2,4,6,8	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130500 生活と健康
担当教員	宮下 裕加
科目の概要	学科共通に学修する共通教養科目の生涯教養系、選択科目である。この授業では、女性に特化した健康と生活について、現代社会における女性特有の健康課題と生涯の健康保持やワーク・ライフ・インテグレーションのあり方を想像する。 オムニバス講義（実務家講師と外部講師）として開講し、有益な専門的知識について理解を深める。
到達目標	①健康とは、どのようなことかを理解する。②健康的な生涯を送るために、女性の現状を把握するとともに解決策を考え理解する。③困難な問題を抱える女性への支援について理解する。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：シラバスの詳細説明 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第2回	現代の健康概念とその意義（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第3回	多様性 ～LGBTQ～（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第4回	食の意義と正しい食生活（反転授業） <百々瀬 いづみ・札幌保健医療大学教授>
第5回	生活習慣病の予防と自己の食生活をチェック（反転授業） <百々瀬 いづみ・札幌保健医療大学教授>
第6回	乳がん ～女性に一番多いがん～（反転授業） <大村 東生・東札幌病院副院長>
第7回	バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍 ～女性に多い甲状腺の病気～（反転授業） <大村 東生・東札幌病院副院長>
第8回	健康における運動・スポーツ効果（反転授業） <高田 真吾・北翔大学准教授>
第9回	仕事と子育ての両立（PBL・反転授業） <福澤 由佳・レディーマーク>
第10回	困難な状況への支援 ～児童虐待～（PBL・反転授業） <鈴木菜摘子・石狩市子ども相談センター>
第11回	アンガーマネジメント（PBL・反転授業） <鈴木菜摘子・石狩市子ども相談センター>
第12回	冬季女性オリンピックの経験 ～アルペンスキー～（反転授業） <川端 絵美・オリンピック>
第13回	夏季女性オリンピックの経験 ～バスケットボール～（反転授業） <矢代 直美・オリンピック>
第14回	母子保健（PBL・反転授業） <北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課・ライフデザインゼミ>
第15回	リフレクション（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>

テキスト	特になし	
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 毎時の講義資料について、UNIPAから事前に提示するとともに、講義時にも配布する。 公益社団法人日本WHO協会 https://japan-who.or.jp/about/ 厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/index_00023.html 	
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	<p>予習：毎講義終了時に、次回講義資料を UNIPA から配布するので熟読し理解を深めておくこと。</p> <p>復習：講義終了時に示す、UNIPA からの課題に取組み提出すること。講義内容は自己の生活にも積極的に取り入れ、自己の最適解を探索すること。</p> <p>時間数：予習・復習ともに、平均すると各回60分程度が必要</p>	
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）／反転授業	
評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	20%	態度
試験	40%	毎時の課題（随時試験）
試験	40%	リフレクション（確認テスト・自己評価）
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する質問は、授業時とUNIPA クラスプロフィールの Q&A でも受け付ける。 UNIPA クラスプロフィールから各回の予習と復習課題を提示する。提出期限までに提出された課題のみを採点する。課題の返却はコメント欄を確認すること。 授業アンケートのフィードバックは、講評期間に UNIPA クラスプロフィールに掲載する。 	

授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に【オンデマンド】との記載以外は、対面授業であり座席は自由とするが、前列側の座席を指示することがある。 ・授業の課題をUNIPAから随時テストとして提示し、授業資料についても事前にUNIPAから配信（カラーのPower Point）するとともに、授業時には紙媒体（白黒印刷）でも配布する。 ・すべての授業において、Power Point（カラー）を使用しての内容となる。
授業に関する実務経験	なし
授業の形態	対面授業（一部遠隔授業あり）

実務家教員に関する授業科目 シラバス

経済学科

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3012	LDP1, LDP2, LDP5 EDP1, EDP2, EDP5 KDP1, KDP2, KDP5	1年	2024年度後期	2単位	講義

科目名	2040130300 生命と倫理
担当教員	齋藤 貴之
科目の概要	遺伝子を手がかりに解明されてきた現代の生命科学の知識と、臓器移植や遺伝子操作を伴う最新の医療技術、そして無痛化社会におけるケアの現実、わたしたちの従来の生命観や倫理観とどう交わり、どう結びつくのか。現実を正しく知り、人類が培ってきた古今東西の知恵をひもとき、新しい生命倫理を考えていきます。 なお、この授業は、本学教員及び外部の実務家講師によってリレー方式で行われます。
到達目標	① 現代の生命科学、医療技術に関する基礎的な知識を身につけること、 ② 様々な伝統的な生命観を理解すること、 ③ 生命をめぐる様々な問題について自ら考えることができるようになること。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：この講義の流れと進め方、決まりごとについて <齋藤>
第2回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅰ：仏教およびアジア諸宗教の考え方をめぐって <八力廣超・慈光寺住職>
第3回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅱ：日本における伝統的な考え方 <齋藤>
第4回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅲ：キリスト教における伝統的な考え方① <佐々木啓・北海道大学大学院教授>
第5回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅲ：キリスト教における伝統的な考え方② <佐々木啓・北海道大学大学院>
第6回	現代の課題と伝統的な生命観Ⅳ：モンゴルにおける伝統的な考え方と暮らし <サラントヤ・北海道大学大学院>
第7回	最新の医療における「生命・いのち」の問題：ケアの現場から <石垣靖子・元東札幌病院看護部長・副病院長、北海道医療大学名誉教授>
第8回	現代科学が解き明かした「生命・いのち」：生物学の見地から① <貴島祐治・北海道大学大学院>
第9回	現代科学が解き明かした「生命・いのち」：生物学の見地から② <貴島祐治・北海道大学大学院>
第10回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題① <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第11回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題② <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第12回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題③ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第13回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題④ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第14回	現代倫理学における「生命・いのち」の問題⑤ <猪ノ原次郎・北海道大学大学院>
第15回	まとめとふりかえり <齋藤>

テキスト	特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考資料	随時紹介し、必要に応じて配布する。
授業外学習（予習・復習）の具体的な内容および時間数	予習 ：次回の講義のテーマを確認し、それに関連する文献や資料を調べるほか、新聞やニュースなどを通して生命や倫理に関する用語に触れておくこと。 復習 ：講義で取り扱ったテーマに関し、配付された資料などを読み直し、理解を深めること。また、重要な用語については正確に記憶し、使用できるようになること。授業の中で示す課題について学期末レポートを作成すること。 時間数 ：総計10時間程度。毎回の予習20分復習20分の学修が必要。
アクティブラーニング	その他

評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	60%	毎回の授業後に提出する感想・コメントなどを加味
レポート	40%	学期末レポート

フィードバックの方法	感想・コメントへのフィードバックについては、その都度コメントや解説、評価を付して返却する。 学期末レポートへのフィードバックについては、コメントと解説、評価を付して、総評や模範解答とともに、成績講評期間に返却する。 授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載する。
------------	--

<p>授業に関する情報</p>	<p>毎回、授業後に、感想・コメントを提出する。 学期末レポート： 第1回から第14回までの「生命と倫理」の授業で扱ったテーマ、またはトピックの中から関心のあるものや興味を持ったものをひとつ取り上げ、授業のポイントを整理し、そのテーマまたはトピックについて文献などを用いて自分なりに調べた上で、自らの考えを論述して、学期末レポートを作成する。</p>
<p>授業に関する実務経験</p>	<p>八力廣超：慈光寺住職 石垣靖子：元東札幌病院看護部長・副病院長、北海道医療大学名誉教授</p>
<p>授業の形態</p>	<p>対面授業</p>

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3013	LDP2,3,5 EDP2,3,5	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130400 女性と社会
担当教員	明田川 知美
科目の概要	「女性」に関わる経済的、政治的、社会的なシステムや通念は、時代や文化により異なる様相を呈しています。「女性」をめぐる課題や論点は文化的また歴史的な制約を受けた流動的なものといえます。本講義は複数の講師（実務家教員含む）が担当するオムニバス形式をとり、多様な視点や解釈を提示します。また、適宜アクティブラーニングの実施を予定しています。
到達目標	1. 様々な人の意見や考え方を知り、そこから新たな発見や気づきを得る 2. 女性を取り巻く今日的な課題について関心をもち主体的に考える力をつける

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：授業の進め方や評価など基本事項の説明
第2回	ワークライフバランス①NPOと社会貢献 「女性の起業をサポートする中で見えてきたこと」[担当：外部講師]
第3回	ワークライフバランス② 仕事における自分らしさ 「女性のキャリアと多様な選択」[担当：外部講師]
第4回	ワークライフバランス④女性支援の視点から 「ワークライフバランス 多様な選択」[担当：外部講師]
第5回	【オンデマンド実施】ワークライフバランス③多様な地域とスタイルではたらく
第6回	ワークライフバランス⑥これからのジェンダーを考える 「たくさんの道と、たくさんの出会い」[担当：外部講師]
第7回	【オンデマンド実施】ワークライフバランス⑤男女共同参画社会の今
第8回	「女性の人権をめぐる活動から社会のあり方を考える」[担当：外部講師]
第9回	「記者人生から見えてきた社会とひとの暮らし」[担当：外部講師]
第10回	「自己表現と個性～ジャーナリズムの視点から～ 人生は自分が主役～人生は選択の連続 意思を持ち自分が決める」[担当：五十嵐いおり]
第11回	自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・スピーチ力 「② コミュニケーションの基本～自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・説明力」[担当：五十嵐いおり]
第12回	社会を見つめる目～多様性社会で生きる自覚・コミュニケーションが築く人間 「③ 自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・報告力」[担当：五十嵐いおり]
第13回	振り返り、学期末試験の説明 「④自分の思いを正確に伝えるためのテクニック・スピーチ力」[担当：五十嵐いおり]
第14回	「社会を見つめる目～多様性社会で生きる自覚・コミュニケーションが築く人間性」[担当：五十嵐いおり]
第15回	まとめ：自分自身の10年後を描く

テキスト	講義中にプリントを配布する。	
参考資料	講義中に随時紹介する	
授業外学習（予習・復習）の具体的な内容および時間数	予習： 新聞など身近な媒体を利用して自分が関心を持てる事柄を調べる 復習： 講義で学んだ内容を意識してニュースや新聞に目を通してください 時間数：1週間のうちに予習・復習合わせて40分程度を確保できると望ましい	
アクティブラーニング	ディスカッション、ディベート	
評価方法	評価割合（%）	備考

平常点（授業参加）	50%	授業への参加意欲と感想文提出
レポート	50%	まとめレポートの実施
フィードバックの方法	講義中に質問等への回答を行う。GoogleClassroom、UNIPAを利用してレポート及び提出物への講評を行う。 授業アンケートのフィードバックは講評期間に UNIPA クラスプロフィールの授業資料に掲載します。	
授業に関する情報		
授業に関する実務経験	なし	
授業の形態	対面授業（一部遠隔授業あり）	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KY3093	LDP1,2,4,6,8 EDP1,2,4,6,8	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2040130500 生活と健康
担当教員	宮下 裕加
科目の概要	学科共通に学修する共通教養科目の生涯教養系、選択科目である。この授業では、女性に特化した健康と生活について、現代社会における女性特有の健康課題と生涯の健康保持やワーク・ライフ・インテグレーションのあり方を想像する。 オムニバス講義（実務家講師と外部講師）として開講し、有益な専門的知識について理解を深める。
到達目標	①健康とは、どのようなことかを理解する。②健康的な生涯を送るために、女性の現状を把握するとともに解決策を考え理解する。③困難な問題を抱える女性への支援について理解する。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション：シラバスの詳細説明 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第2回	現代の健康概念とその意義（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第3回	多様性 ～LGBTQ～（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>
第4回	食の意義と正しい食生活（反転授業） <百々瀬 いづみ・札幌保健医療大学教授>
第5回	生活習慣病の予防と自己の食生活をチェック（反転授業） <百々瀬 いづみ・札幌保健医療大学教授>
第6回	乳がん ～女性に一番多いがん～（反転授業） <大村 東生・東札幌病院副院長>
第7回	バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍 ～女性に多い甲状腺の病気～（反転授業） <大村 東生・東札幌病院副院長>
第8回	健康における運動・スポーツ効果（反転授業） <高田 真吾・北翔大学准教授>
第9回	仕事と子育ての両立（PBL・反転授業） <福澤 由佳・レディーマーク>
第10回	困難な状況への支援 ～児童虐待～（PBL・反転授業） <鈴木菜摘子・石狩市子ども相談センター>
第11回	アンガーマネジメント（PBL・反転授業） <鈴木菜摘子・石狩市子ども相談センター>
第12回	冬季女性オリンピックの経験 ～アルペンスキー～（反転授業） <川端 絵美・オリンピック>
第13回	夏季女性オリンピックの経験 ～バスケットボール～（反転授業） <矢代 直美・オリンピック>
第14回	母子保健（PBL・反転授業） <北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課・ライフデザインゼミ>
第15回	リフレクション（反転授業）【オンデマンド】 <宮下 裕加・北海道武蔵女子短期大学>

テキスト	特になし	
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時の講義資料について、UNIPAから事前に提示するとともに、講義時にも配布する。 ・公益社団法人日本WHO協会 https://japan-who.or.jp/about/ ・厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/index_00023.html 	
授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	<p>予習：毎講義終了時に、次回講義資料を UNIPA から配布するので熟読し理解を深めておくこと。</p> <p>復習：講義終了時に示す、UNIPA からの課題に取組み提出すること。講義内容は自己の生活にも積極的に取り入れ、自己の最適解を探索すること。</p> <p>時間数：予習・復習ともに、平均すると各回60分程度が必要</p>	
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）／反転授業	
評価方法	評価割合（％）	備考
平常点（授業参加）	20%	態度
試験	40%	毎時の課題（随時試験）
試験	40%	リフレクション（確認テスト・自己評価）
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は、授業時とUNIPA クラスプロフィールの Q&A でも受け付ける。 ・UNIPA クラスプロフィールから各回の予習と復習課題を提示する。提出期限までに提出された課題のみを採点する。課題の返却はコメント欄を確認すること。 ・授業アンケートのフィードバックは、講評期間に UNIPA クラスプロフィールに掲載する。 	

授業に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に【オンデマンド】との記載以外は、対面授業であり座席は自由とするが、前列側の座席を指示することがある。 ・授業の課題をUNIPAから随時テストとして提示し、授業資料についても事前にUNIPAから配信（カラーのPower Point）するとともに、授業時には紙媒体（白黒印刷）でも配布する。 ・すべての授業において、Power Point（カラー）を使用しての内容となる。
授業に関する実務経験	なし
授業の形態	対面授業（一部遠隔授業あり）

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KZ3133	KDP1,2,7	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2030240200 銀行と金融				
担当教員	飯田 治				
科目の概要	銀行は、預金、貸出、為替といった業務やATMなどを通じ、日常生活の中でなじみ深い役割を果たしています。その一方で、規制緩和やニーズの変化などを背景に、銀行の業務はどんどん領域を広げ多様化してきました。また、経営統合などを通じ、銀行経営も大きく変化しています。授業では、銀行の役割や機能などを具体的事例により学んでいきます。				
到達目標	①経済活動や国民生活における銀行の役割を理解する。 ②銀行の基本的機能(資金仲介、信用創造、資金決済等)を理解する。 ③銀行を利用するための基礎知識を修得する。				
授業の内容および計画					
第1回	授業のオリエンテーション：内容、進め方、評価の方法、銀行機能の概観。				
第2回	経済活動と銀行の役割：銀行の全体的なイメージをつかむ。				
第3回	銀行の基本的機能：資金仲介・信用創造・資金決済などの基本的機能を知る。				
第4回	銀行の種類:日本銀行、メガバンク、地方銀行、信用金庫などの特徴と違いを知る。				
第5回	金融市場に関する基礎知識:銀行と金融市場の関係、金融政策などを知る。				
第6回	預金の種類と特徴①:預金業務の内容、銀行窓口の対応などを知る。				
第7回	預金の種類と特徴②：要求払預金、定期預金、当座預金などの特徴を知る。				
第8回	貸出の種類と特徴①：貸出の仕組み、原則、担保などを知る。				
第9回	貸出の種類と特徴②：金利の設定、審査、リスク管理、新しい貸出形態などを知る。				
第10回	資金決済業務について：為替、手形・小切手、クレジットカードなどの仕組みを知る。				
第11回	家計と銀行①：家計の資金運用・調達先としての銀行について知る。				
第12回	家計と銀行②:住宅ローンの仕組み、消費者・預金者を守る制度について知る。				
第13回	企業・地域と銀行:企業や地域から信頼される銀行の条件を考える。				
第14回	過去の質問内容などを通じて、「銀行と金融」で学んだことを復習する。				
第15回	総括:現在の銀行についてまとめ、これからの銀行について考える。				
テキスト	特になし。				
参考資料	テキストとして、講師作成の資料を毎回配布する。 参考資料は、必要に応じ、適宜紹介する。				
授業外学習（予習・復習）の 具体的内容および時間数	予習：次回資料を事前にユニバに掲載するので、目を通しておくこと。 復習：課題をユニバで回答するために、再度資料を読むこと。疑問点などがあれば、質問を考えること。 時間数：各回最低予習30分・復習30分程度の学修が必要です。				
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）				
評価方法	評価割合（％）		備考		
試験	60%		学期末試験を実施する。		
平常点（授業参加）	40%		毎回の課題とその回答(質問・感想を含む)。		
フィードバックの方法	・学期末試験と授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロフィールの授業資料に掲載します。 ・UNIPAクラスプロフィールから各回の予習課題を提示。返却課題のコメント欄を確認すること。				
授業に関する情報					
授業に関する実務経験	道内金融機関とシンクタンクでの勤務経験を生かした実務家講師による講義となります。				
授業の形態	対面授業				

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KZ3233	KDP1,2,7	2年	2024年度前期	2単位	講義

科目名	2030240300 証券と金融				
担当教員	飯田 治				
科目の概要	証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計・政府において非常に重要な役割を果たしている。また、個人の資産形成等においても、日常生活との関わりも非常に強くなっている。講義では、証券の仕組みと役割を学ぶとともに、株式投資の模擬実習「株式学習ゲーム」を通じて、株式相場と社会・経済の動きとの関連性、企業の評価等を実習する。				
到達目標	①有価証券(株式・債券・投資信託)の基本を理解する。 ②金融業務の中の証券業務を理解する。 ③リスク・リターンを認識し、ライフプランの設計を理解する。				
授業の内容および計画					
第1回	オリエンテーション：講義の進め方、実習「株式学習ゲーム」、成績評価について説明する。				
第2回	経済・財務の基礎知識①：証券に関する経済について復習する。				
第3回	経済・財務の基礎知識②：証券に関する財務について復習する。				
第4回	資産運用の基礎知識：資産運用、リスクとリターン、金融商品を知り、ライフプランの設計について理解する。				
第5回	証券の基礎①：証券の役割と種類、特徴を知る。				
第6回	証券の基礎②:証券市場の仕組み、証券会社の役割を知る。				
第7回	株式の基礎①：株式の種類と株主の権利、株式会社の歴史を知る。				
第8回	株主の基礎②：株式の公開、増資による資金調達、株主投資を学ぶ。				
第9回	株主の基礎③：株価の変動とその要因、日経平均株価、TOPIX、インサイダー取引等を学ぶ。				
第10回	債券の基礎①：債券の種類、債券と株式の違い、公社債の歴史を学ぶ。				
第11回	債券の基礎②：債券の格付、債券の価格と金利、利回り計算を学ぶ。				
第12回	投資信託の基礎①：投資信託の仕組み、投資信託のメリットとリスクを学ぶ。				
第13回	投資信託の基礎②：投資信託の種類、投資信託の選び方を学ぶ。				
第14回	ライフプランの設計と金融商品の各種税制：講義で学んだ株式・債券・投資信託の知識を生かし、ライフプランを設計するほか、金融商品の税制について理解する。				
第15回	実習結果発表、まとめ：「株式学習ゲーム」の結果発表、学んだ内容を振り返り、証券の必要性を再認識する。				
テキスト	特になし。				
参考資料	特になし。必要に応じて、適時紹介する。				
授業外学習（予習・復習）の具体的な内容および時間数	予習：新聞等で証券・企業などの動向を把握すること。 復習：講義内で取り扱った範囲の要点をまとめ、再度資料を読むこと。 時間数：各回最低予習30分、復習30分程度の学修が必要です。				
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）				
評価方法	評価割合（％）		備考		
試験	30%		学期末試験		
平常点（授業参加）	70%		課題提出		
フィードバックの方法	・学期末試験と授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロファイルの授業資料に掲載します。 ・UNIPAクラスプロファイルから各回の予習課題を提示。返却課題のコメント欄を確認すること。				
授業に関する情報					
授業に関する実務経験	道内金融機関とシンクタンクでの勤務経験を生かした実務家講師による講義となります。				

授業の形態	対面授業
-------	------

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KZ3334	KDP1,2,7	2年	2024年度後期	2単位	講義

科目名	2030240400 保険と金融				
担当教員	飯田 治				
科目の概要	企業活動や個人の生活には、災害、事故、病気など様々なリスクがつきまっています。その備えとして、生命保険や損害保険など「保険」の仕組みができ、社会経済の変化に応じて発展してきました。また、保険は金融市場とも結びついています。授業では、多様な保険についてその仕組みと役割を学び、保険の必要性を考えていきます。				
到達目標	①多様な保険について、それぞれの基本的な仕組みと役割を理解する。 ②金融商品の一つである保険と金融市場の関わりを理解する。 ③基本的な保険の知識を修得することにより、その必要性を理解する。				
授業の内容および計画					
第1回	授業のオリエンテーション：内容、進め方、評価の方法。保険とは何かを知る。				
第2回	保険の仕組みと役割①：保険全般の仕組みと一般原理を知る。				
第3回	保険の仕組みと役割②：保険全般の種類、役割、特徴を知る。				
第4回	生命保険①：生命保険の仕組みと役割を知る。				
第5回	生命保険②：生命保険の種類と特徴を知る。				
第6回	損害保険①：損害保険の仕組みと役割を知る。				
第7回	損害保険②：損害保険の種類と特徴を知る。				
第8回	第三分野の保険：生命保険・損害保険の総括と第三分野の保険(医療保険など) について学ぶ。				
第9回	企業社会を支える保険：企業活動でのリスクとそれに対応する保険について学ぶ。				
第10回	社会保険：社会保障制度と公的保険について学ぶ。				
第11回	保険と金融市場：金融機関である保険会社と金融市場の関係について学ぶ。				
第12回	保険の経営①：保険会社の組織、経営のリスク、販売チャネルについて学ぶ。				
第13回	保険の経営②：保険犯罪、保険会社の破綻、契約者保護制度について学ぶ。				
第14回	これまでの質問回答を中心に、「保険と金融」で学んだことを復習する。				
第15回	総括：保険の必要性を改めて考える。				
テキスト	特になし。				
参考資料	講師作成の資料を毎回配布する。 必要に応じ、適宜紹介する。				
授業外学習（予習・復習）の 具体的内容および時間数	予習：次回資料をユニバに掲載するので、目を通しておくこと。 復習：課題をユニバで回答するために、再度資料を読むこと。疑問点などがあれば、質問を考えること。 時間数：各回最低予習30分・復習30分程度の学修が必要です。				
アクティブラーニング	PBL（課題解決型学習）				
評価方法	評価割合（％）			備考	
試験	50% 50			学期末試験を実施する。	

平常点 (授業参加)	50%	毎回の課題とその回答(質問・感想を含む)。
フィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末試験と授業アンケートのフィードバックは講評期間にUNIPAクラスプロフィールの授業資料に掲載します。 ・UNIPAクラスプロフィールから各回の予習課題を提示。返却課題のコメント欄を確認すること。 	
授業に関する情報		
授業に関する実務経験	道内金融機関とシンクタンクでの勤務経験を生かした実務家講師による講義となります。	
授業の形態	対面授業	

No.	DP	学年	学期	単位数	授業の方法
KZ5123	KDP1, 6	2年	2024年度前期	1単位	

科目名	2030270400 キャリア論
担当教員	渡邊 泰宏
科目の概要	人生をより良く生きるうえで、必要なものは何か？キャリアデザインあるいはライフデザインをテーマに、「キャリアとは何か」を考えていきます。社会で活躍している方々を講師としてお迎えして、オムニバス形式で講義を行います。
到達目標	①キャリアについての諸説や理論の変遷を理解する。②キャリアデザインを描く意義を理解する。③業種と職種、仕事と責任、人間関係とコミュニケーションなど、より良く働くための基礎を理解する。

授業の内容および計画

第1回	オリエンテーション（講義のねらい及び進め方などについての説明）
第2回	「キャリアデザインをデザインする」今川 かおる氏（家事調停委員）
第3回	「私のキャリアと仕事」菊地 晴香氏（株式会社ダイヤ書房学校事業本部情報事業部）
第4回	「人生100年時代を働く」齊田 友紀氏（元・[株]北海道宝島旅行社 営業部部长 取締役）
第5回	「卒業生から見た武蔵の仕事」佐々木 恵美氏（北海道武蔵女子短期大学 学務課教務係長）
第6回	「多様なキャリアを描く～変化する女性の働き方～」橋本 彩加氏（さっぽろ青少年女性活動協会 主任）
第7回	「人生100年時代の働き方とお金のはなし」田原 咲世氏（北桜労働法務事務所 社会保険労務士）
第8回	総括 講義全体のふりかえり

テキスト	使用しない。
参考資料	講義中に適宜紹介する。

授業外学習（予習・復習）の具体的内容および時間数	予習：講義の最初で配布されるゲスト講師の方々のタイトルから、毎回どのようなキャリアについてのお話しが聞けるかを想像し、メモしておくこと。 復習：講義での学びを、レポートとしてまとめ提出する。 時間数：講義の予習・復習あわせて総計10時間程度を目安（予習・復習それぞれ最低20分ずつ）とする。
--------------------------	---

アクティブラーニング	ディスカッション、ディベート
------------	----------------

評価方法	評価割合（％）	備考
レポート	70%	各回の講義レポート
平常点（授業参加）	30%	講義内での発言、学習意欲・態度

フィードバックの方法	各回のレポートについて適宜コメントを実施する。 授業アンケートのフィードバックは講評期間に UNIPA クラスプロフィールの授業資料に掲載します。
------------	--

授業の形態	対面授業
-------	------

授業に関する情報	内容が一部変更になる可能性があります。
----------	---------------------

授業に関する実務経験	この科目の一部または全部は実務家講師・実務家教員による授業科目です。
------------	------------------------------------